

第39号

発行: 医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院



調布市深大寺北町4-17-1 = 6042-482-9151 URL www.kichijoji-hospital.com

基本理念

患者様やご家族の側に立った医療 患者様の社会復帰を目指す医療 全職員相互の力を発揮できる医療



雪の病院入口(撮影:平成13年1月・平成17年1月 撮影者 看護部 山本師長)

contents

新年のご挨拶 院長	1
新年のご挨拶 事務長	3
新年のご挨拶 看護部長	4
職員に聞いてみました「今年の抱負」	5
委員会紹介 SST 委員会 ·······	6
研修報告 患者サービス向上委員会「接遇」研修を実施して	7
学会報告 ~拘束帯による看護師の縛られ体験を通して~	8
クリスマス会	9
永年勤続表彰/平成 26 年忘年会	10
新人コーナー/平成 26 年度 吉祥寺病院行事予定	11
当院のおすすめメニュー	12
外来担当表/当院略図/編集後記	13

新年によせて

院長 塚本

明けましておめでとうございます。

2014年の漢字は「税」が選ばれました。昨年 は17年ぶりに消費税の増税が行われ、消費税が 5%から8%へ増税されました。

消費税が増税されると医療機関の経営は苦し くなります。なぜなら医療は非課税となってい ます。消費税とは元々最終消費者が負担する仕 組みになっていますが、病院が医療を提供する ために支払っている消費税(建物・設備・もろ もろの支払い等)を患者さんに転嫁できず、病 院が肩代わりして負担しなくてはならないから です。消費税とは元々最終消費者が負担する仕 組みになっていますが、大きな大学病院などは 年間億単位の負担を強いられています。政府は 医療機関の消費税負担分を診療報酬に上乗せし て支給するという方法で1989年の3%、1997年 の5%時にも診療報酬に上乗せしたと主張して いますが、2年ごとの診療報酬の改定時に上乗 せしたはずの部分がなくなっていたり、他の点 数に包括され吸収されるなど不明確な点の多い ものでした。

昨年の診療報酬改定時には、消費税3%引上対応分として1.36%上乗せされたことになっています。新聞などの報道では、昨年の診療報酬改定は全体改定率としては+0.10%のプラス改定とされていますが、その中に消費税3%引上対応分の1.36%が含まれているので、実際は-1.26%のマイナス改定でした。

今年は介護報酬の改定が行われますが、財務 省は-6%のマイナス改定とするとアドバルー ンを上げています。

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減り、高

齢者が増えますと確かに社 会保障にまわせる財源が難 しくなります。また赤字国 債が積み上がった我国で は、国家財政も厳しさを増 し医療改革の見直しは避け て通れないと思います。



今後医療提供体制の改革と「地域包括システム」の導入が求められ、医療機関の機能分化・ 強化と連携・在宅医療の充実等に取り組む必要 があります。このように厳しい社会情勢ですが、 当院が掲げる

- ① 患者様やご家族の側に立った医療
- ② 患者様の社会復帰を目指す医療
- ③ 全職員相互の力を発揮できる医療 の3つの基本理念を大切に今年も頑張っていき たいと思っていますので宜しくお願い致しま す。



当院は昨年創立60周年を迎えることができました。創立者の塚本金助が創立時に以下の文章を残しています。

「精神病患者が巷に溢れ、患者の多くが入 院先に困り、家族の不安と患者自身の不幸を 見るにみかね、何とかこれを救うには、少し でも理想的な病院を建設し、自ら最高の治療、 生活指導を行ない、患者の人格を重んじ、患者を愛し、患者の社会復帰の一日も早からんことを期し、社会公共の福祉を図りたいとの信念に基づき、吉祥寺病院を建設した」

現在掲げる基本理念の核となる部分は開院 当初から脈々と続いていると感じます。



昭和30年代前半



昭和30年代後半

61年目に

事務長 大須賀忠雄

新年おめでとうございます。

皆さんは穏やかな新年を迎えることができま したでしょうか。

新年といえば日ごろから付き合いのある方は もちろん、お世話になっている方々へ感謝の気 持ちを込めて、また1年に1度近況を知らせる ため年賀状を送ります。その年賀状の文頭に、 祝意を表す言葉である賀詞を用いますが、その 種類は非常に多くあります。「謹賀新年」「恭賀 新年」「賀正」「迎春」などなど。しかし、場合 によっては相手に失礼にあたる場合もあるよう です。2文字の賀詞は、お祝いの言葉を簡単に 表したもので、相手への敬意を省略した形のた め、目下から目上の方へ送ると失礼にあたると いわれています。

【一般的に使用できる賀詞】

謹賀新年、あけましておめでとうございます、 新春のお慶びを申し上げます

【目上から目下に送る場合】

賀正、迎春、初春など

【目下から目上に送る場合】

謹賀新年、恭賀新年、謹んで初春のお慶びを 申し上げます

【親しい知人や友人に送る場合】

あけましておめでとう、賀正、迎春、初春、 Happy New Year

今後も失礼のない年賀状にしていきたいと思 います。

さて、昨年を振り返ってみますと、2月の関東甲信での2週連続での大雪、8月の広島市での土砂災害、9月の御嶽山の噴火など、多くの死者が出ました。2011年の東日本大震災後の自

然の猛威に驚かされるばかりです。自然の前に人間の無力さを感じるのは私だけでしょうか。また、4月には消費税が5%から8%に引き上げられ、病



院はもちろんですが、一般生活にも大きな影響 を受けました。

しかし、暗いニュースばかりではなく「ソチ五輪での羽生選手の金をはじめ銀4、銅3を獲得するなどの活躍」「テニスの錦織選手が全米テニスで準優勝するなどの活躍」「ノーベル物理学賞に青色 LED を開発した赤崎・天野・中村の3教授が選ばれる」といった明るいニュースもありました。

吉祥寺病院を振り返ってみますと、4月に診療報酬点数の改定があり新設された精神科急性期病棟医師配置加算を8月に届出て、受理されました。また、1954年9月1日に吉祥寺病院が開設され、昨年で60周年を迎えました。人間でいえば還暦。2015年は新たな一歩を踏み出す年になることでしょう。

今年が充実した、明るい一年となるよう皆さ ん頑張っていきましょう。



新年のご挨拶

看護部長 伊藤 久代

新年明けましておめでとうございます。今年 もどうぞよろしくお願いいたします。

2014年は病院創立60周年という節目の年でした。忘年会で60周年記念誌の紹介がありました。私も校正で第1部を読みましたが、昭和29年創立から現在までの病院の歴史が読み物風に構成され、読みやすい記念誌になっていました。歴史を知ることは、また、新しい目で今を見ることにもつながります。完成しましたら、ぜひ読んでいただきたいと思います。わたしも楽しみにしています。

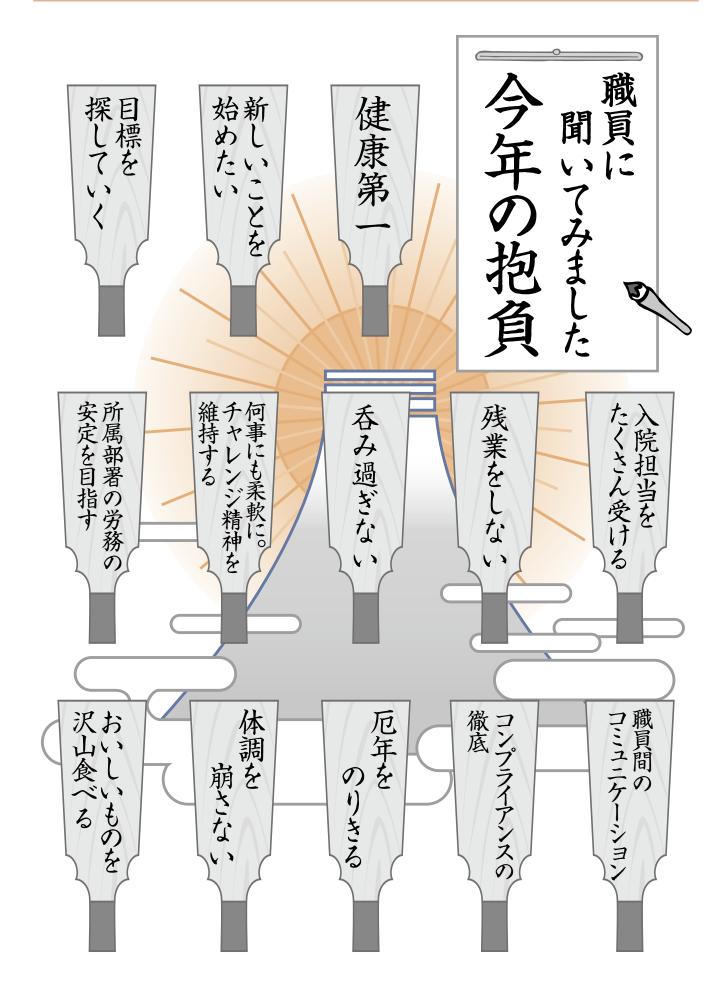
2014年診療報酬改定で急性期治療病棟16:1 医師加算を取得することが出来ました。新規入 院患者のうち、3か月以内の退院患者割合が60 %以上という施設基準をクリアしなければなら ず、きめ細かく治療・ケアを組み立てていく必 要があろうかと思います。また、精神保健福祉 法も一部改正され、医療保護入院の保護者制度 の廃止、医療保護入院者に退院後生活環境相談 員を選任し、患者や家族からの退院後の生活に ついて相談に応じること、入院期間を超える場 合は退院支援委員会の開催等が義務付けられま した。院内では改定部分は比較的スムーズに運 用されていると思いますが、これから、さらに 法・制度改革が行われていく中で、チーム医療 を強化し、治療・ケアの方針を多職種で共有し ていくことが重要になってくると思います。多 職種カンファレンス (入院時、中間、退院時) を実施し、看護師は調整者・患者の擁護者とし ての役割を認識して活動していかなければと考 えています。今年度はカンファレンス調整シー

トを活用し、確実にカンファレンスが実施できるようにしていきたいと思っています。

2014年度看護部教育計画に「患者の思いを尊重す



る患者援助」と「実践につながる看護記録」の 2つのテーマを新たに加えました。 患者の思い に添い、患者に満足いただける看護をするには、 職員が看護のおもしろさが実感できるようにな るにはどのような看護実践や教育をしたらよい のかを師長会議等で検討し加えたものです。「患 者の思いを尊重する患者援助」では①信頼関係 を作るための関わり ②自分を活用したコミュ ニケーションの実践 ③患者の言動・行動・表 情をとらえてアセスメントできる、「実践につ ながる看護記録」では、患者に関わったことを 記録に残すこと、看護過程を学び、実際に行っ ている看護援助を計画として表すことを目標と しています。それぞれの研修を3回行い、看護 職員の1/3が参加できるようにと計画していま す。これは今年度も同じ内容で実施し、看護職 員の7割程度は受講できるようにしたいと思っ ています。現場で活用できるように実践的な内 容になっています。実践で活用しさらに看護の 実践力の向上を期待しています。年々入院期間 が短縮され、業務に追われるような日々も多く なっていると思います。しかし、そんな中だか らこそ、看護師が看護実践力をつけていくこと が大切なのではと思っています。



各委員会より

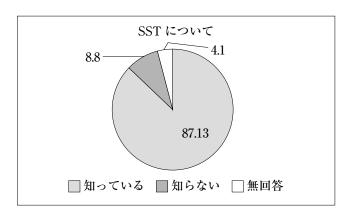
SST 委員会の紹介

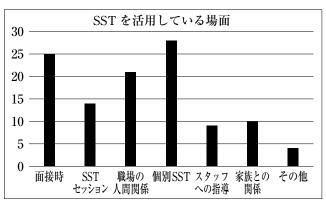
A3病棟 師長 河岸 光子

SST 委員会は診療部に属し、多職種チームで取り組んでいます。多職種構成は委員長である診療部長、顧問として看護部長、副委員長の看護師長、各病棟より看護師2名、作業療法士、精神保健福祉士、薬剤師が配置されています。プログラムは服薬教室を1クール6回6クール、ステップバイステップグループを1クール12回2クール実施しています。メンバーさんとの出会いに感動がたくさんありますが、あるメンバーさんが「以前の病院でSSTを受けたことがあるが、ままごとのようだった。ここのSSTは本当に今の自分に役に立つSSTで参加できてよかった」と感想を述べていました。

プログラムの運営としては、各プログラムを グループ分けして配置されたスタッフはセッション活動しています。その核を担うリーダー的 スタッフを各プログラムに配置し、そのリーダーが運営面でスタッフ編成を計画します。書類 整理や準備は作業療法士が担っています。グループ運営に関わる様々なことも多職種共同で行っています。SST 委員は基本的に初級クラス、中級クラスを受講しているので、プログラムのリーダー、コリーダーもできるようになり、面接技法やメンバーさんからの思いを引き出す技法が上達していきます。

今回、医療職全員にアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。回収率79.5%で一部ですがSSTの認知度と受講後に活用している場面のグラフお届けします。





院内研修会を実施して10年を経過しましたが、SSTが病院の中で認知され職場や日常で活用している様子が結果からもでています。SSTのエッセンスを使い職場で患者様の思いを引き出したり、面接場面で活用したり、またはもっと活用したいという声が多く聞かれました。

委員会としてはグループでのメンバーさんへより良い SST を提供し、地域で安定した日常生活が送れるように、それぞれのスタッフは腕に磨きをかける一方、職場でも SST を活用できるようたくさんの支援をしていきたいと願っています。今後とも SST 委員会へのご協力をよろしくお願いいたします。



患者サービス向上委員会「接遇」研修を実施して

患者サービス向上委員会は各部署からの委員 13名によって構成され、毎月委員会を開催し、 患者・ご家族様の退院時アンケートの集約、ア ンケート結果の集約や改善についての検討、接 遇向上のための取組(各部署での接遇チェック、 マニュアルの実践、研修)を行っています。接 遇研修は5年前から毎年2回実施しています。 最初の2年は退院時アンケートや実際に現場で 気になっている事例を使ったロールプレイやグ ループワークで接遇を学ぶ研修、3.4年目は 外部講師による「接遇の基本」「コミュニケー ションスキルアップ | の講義、実践編として事 例を使ったロールプレイを実施しました。今年 度は精神科医療の現場を経験した方を講師にと いう希望が多く、恩方病院で長く看護部長を務 められ、現在は地域連携室長として活躍されて いる後藤史子さんに講師をお願いし、『「お・も・ て・な・し」 - 心が笑顔になる、接遇へ - 』を 開催しました。

講義では、接遇とは「心からのおもてなし」「ホスピタリティ」である。期待通りのサービスはあたりまえであり、相手の期待を上回る感動や感銘を与える「付加価値」を提供すること。そして接遇の究極の目的は信頼関係を相手と樹立することである。そのためには患者さんやご家族が医療機関にどのようなサービスを求めているのか知り、より良い接遇で対応していくことが大切であるということでした。基本の接遇マナーとして身だしなみ、表情、あいさつ、言葉づかい(言葉は使うのではなく遣うもの、気

患者サービス向上委員会委員長 伊藤 久代 配りや心遣いが大切というのも印象的でした)、 話し方、マイナス→プラス話法、「NO」を上手 に伝える方法、共感を得る聞き方のポイント、 歩き方、立ち方、好感のもてる態度などを実際 の事例を交えながら分かり易く教えていただき ました。研修後のアンケートでは「自分の行っ たことが患者さんを笑顔にし、それで自分も良 い気分で仕事が出来る事に気付きました。良い 循環を作り出し、仕事にあたっていきたいです」 「職場の人間関係が対応となって現れる。チー ムワークを良くすることが大切だと思いまし た。相手との良い信頼関係が築けるよう心掛け たい。」「あたりまえのことをするのではなく、 もう一歩進んだサービスをすることが良い接遇 であり、相手に感動を与えるという事が勉強に なりました | など、具体的に自分の行動に活か せるものが学べたと思います。委員会主催で実 施する2月の接遇研修では今回教えていただい たことを活かせるような内容で企画したいと考 えています。患者さん・ご家族との信頼関係を 築き、喜んでもらえる、満足してもらえる接遇 を目指して活動していきたいと思います。





~拘束帯による看護師の縛られ体験を通して~

B3病棟では昨年度(平成25年)の看護研究に於いて、拘束帯を用いた拘束体験を行い、患者様の身になって分かった事を発表しました。これは、1つには時代の流れとして身体拘束に対する人権への配慮や苦痛の緩和、代替え方法の模索が叫ばれているという背景に基づいている事、もう1つとして、新人の頃にはとても「驚いた」身体拘束という行為が日々のパターン化した業務になり、身体拘束に対する「驚いた」気持ちが少なくなってきている事に危機感を覚えたからです。

学問上の貢献に寄与する事を目的とし、倫理 的配慮を行った上で病棟看護師の3名に体験し て貰いました。実際に1時間の身体拘束を行 い、食事や内服もして貰いました。体験直後の アンケートで上位項目にあがったのは、苦痛、 屈辱、圧迫感、虚しさ、疲労感、諦めといった ものでした。その他には拘束帯のサイズが合っ ていなくてとても痛いことが分かった、動けな い苦痛があった等の具体的な感想も聞かれまし た。1時間の体験ではありましたが、実際に感 じた恐怖や孤独、看護師が来てくれた時の安心 感等、色々と感じた事は貴重な体験であり、こ れを基に、拘束される患者様の気持ちを受け止 め、共感してゆく事が必要であると考えました。 そして拘束の目的を明確にする事、常に拘束状況にある患者様の病態像を観察し、アセスメントしてゆく事が行動制限最小化へ繋がると考えます。

B3病棟 看護師 西田 卓也

この研究で得られた結果を大切にして、初めて身体拘束を目の当たりにした新人の頃の「驚いた」気持ちを忘れず、拘束をする事が当たり前であってはならない職場環境つくりに、チーム全体で努めてゆきたいと思います。



クリスマス会

去る12月11日に、『クリスマス会』が開催されました。今年も2組のゲストをお招きし、外来や入院の患者様延べ100人以上が会し、楽しいひと時を一緒に過ごしました。

最初に登場したのは、ウクレレとギターを伴奏に、澄みきった良く通る声で、素敵なハーモニーを聴かせてくれた『社医楽団』のお2人です。1曲目のハワイ語の歌から会場は静まりかえってその声と歌に聴き惚れました。最後はクリスマスメドレーで盛り上がり、笑顔で2組目にバトンタッチ。

次に登場したのは、ゴスペル・コーラスグループの『ブライト・ライツ・クワイア&ラ・プレイズ』の皆さん。歌詞はほとんど英語という本格的なものでしたが、11名の声が織りなす、ゴスペル独特のリズムやハーモニー、雰囲気、迫力に会場は圧倒されました。興奮した客席からは飛び入りしてダンスを披露する方も登場し、一体感に包まれてクリスマス会は幕を閉じました。

今回お招きした『社医楽団』は作業療法を学ぶ現役学生さんのユニットで、実は当院に実習に来られたこともある2人で、久しぶりの再会に顔をほころばせている方もいました。『ブライト・ライツ・クワイア&ラ・プレイズ』のメンバーには当院の看護師さんも所属されていて、普段とは違う姿に会場は驚いたり感心したり。参加されたメンバーさんからは、「これまで歌ってきて良かった」と思うほど感激した素晴らしい時間だった、との感想もいただきました。

レクリエーション委員会 小松 晃

今後も、外に開かれた病院として、積極的に ゲストを招いて一緒に楽しみ、吉祥寺病院の良 さを広く知っていただけるような機会にしてい きたいと思わせる今年のクリスマス会でした。



「社医楽団」のお2人による演奏



「ブライト・ライツ・クワイア&ラ・プレイズ」の皆さん によるゴスペル・コーラスと一緒に楽しむ患者さん達

永年勤続表彰

去る11月5日、新宿 京王プラザホテルにおいて、東精協・日精協主催による永年勤続表彰式が行われ、10年表彰をA2病棟の大平田津江さんと作業療法科の山本里江さんが、30年表彰では栄養科の望月桂子さんが表彰されました。

御三方、おめでとうございます 今後の更なるご活躍をお願い致します。 付添で同席された市川診療部長、お疲れ様で した。

平成26年忘年会



塚本理事長による挨拶



原藤名誉院長による乾杯の発声



土井副院長による閉会の挨拶

平成26年12月19日(金) 吉祥寺病院平成26 年忘年会が塚本理事長による挨拶、原藤名誉院 長による乾杯の発声により、142名の参加を得 て開催されました。

今回は創立60周年記念でもあり、例年のご招待の方々の他に、病院の創成期から活躍された方々もお招きし、厳かにも和やかに開催されました。

式では、本年の学術賞(6件)の表彰と記念 品の授与も行いました。

2時間余の楽しい宴も何時しかお開きの時を。

土井副院長の閉会の挨拶で、心残しながらも 宴はお開きとなりました。

幹事の方々、病棟の皆様 この場を借りてお 礼申し上げます。

今回、勤務の都合等で参加できなかった方々、 次回は愉しいひと時をご一緒しましょう。 YI (B1病棟 看護師)

- ①千葉県
- ②自由な雰囲気
- ③何事もあきらめない
- ④温泉旅行

HN (B3病棟 看護師)

- ①東京都
- ②スタッフが親切
- ③思いは通じる
- 4 韓国



- ①出身地
- ②吉祥寺病院の第一印象
- ③私のモットー
- ④最近ハマっていること

MS (DC/NC室 作業療法士)

- ①東京
- ②院庭など緑があって明るい雰囲気
- ③いつも笑顔を心がける
- ④編み物

平成 26 年度 吉祥寺病院行事予定								
*1月 行事関係	*2月 行事関係	*3月 行事関係						
10日 (土)	7日(土)喫茶カトレア	14日 (土)						
ファミリーサポートセミナー	14日 (土)	ファミリーサポートセミナー						
17日(土)家族会	ファミリーサポートセミナー	14日 (土)						
研修関係 (予定)	21日(土)家族会	受水槽 法定定期清掃 (PM						
看護研修	28日(土)家族教室	から)						
(プリセプター⑥、プリセプテ	研修関係 (予定)	15日 (日)						
√ (6)	看護研修(実践研修記録3-1)	高架水槽・貯湯槽 法定定期						
看護実践研修 (患者の思い③)	看護研修	清掃						
看護研修 2年目③	(プリセプター⑦、プリセプテ	研修関係 (予定)						
院内教育研修	イ ー ⑦)	看護研修(実践研修記録3-2)						
	看護研究発表	看護研修						
	看護事例検討会	(プリセプター 27年度合同)						
	院内教育研修	看護研修 (プリセプター①)						
		院内教育研修						



〈当院のおすすめメニュー〉



鱈トマトソース



材料 (2人分) たら 小さめ切り身4枚 塩 少々 こしょう少々

トマトソース

玉葱 1/2ヶ (みじん切り) おろしにんにく 少々 サラダ油 少々

-トマト缶詰 80 g

トマトケチャップ 小さじ1

砂糖

小さじ1

A 塩 小さじ1/5

こしょう 少々

コンソメ 小さじ1/4

-パセリみじん切り 適量

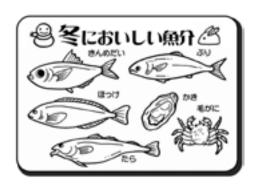
●作り方●

- ①タラに塩・こしょうで下味を付け10分間蒸す
- ②トマトソースを作る

鍋に油とおろしにんにくを入れ、香りがでる まで熱し、玉葱が透き通るまで炒める

|A|を入れ弱火で煮詰める

③蒸しタラをお皿に盛り付けトマトソースを かけて、パセリを飾る



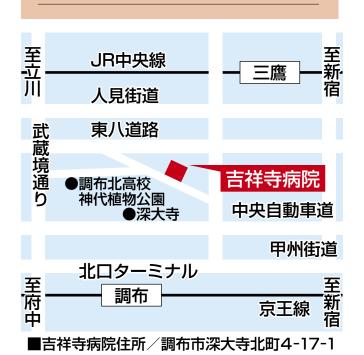
外来担当表

	月	火	水	木	金	±
診察室(1)	原藤	院長	原藤	小木	原藤	原藤 / 水落
診察室(2)	市川	市川	岡田	市川	市川	亀山
診察室(3)	田澤	西岡	西岡	田澤	西岡	西岡
診察室(4)	森	森	村尾 / 手塚	齊藤	森	森
診察室(5)	齊藤 / 岡田	山室	山室	浅野 / 山室	岡田	村岡 / 山室
診察室(6)	土井	土井	村岡	セカンドオピニオン 土井	周東 / 土井	

— 受付時間

月一土

午前 9時00分~11時(初診・再診) 午後 1時~3時(初診)



〈編集後記〉

昨年末、東京ミッドタウン、恵比寿ガーデンプレイスそして東京ミチテラスとイルミネーション鑑賞の機会に恵まれました。 それぞれが個性を発揮しすばらしいイルミネーションでした。百聞は一見に如かず、皆様も是非イルミネーション鑑賞にお出かけください。

ところで今年は積極的にさまざまな機会 を作っていこうと思います。本年もじんだ いをよろしくお願い致します。

(か)

新年明けましておめでとうございます。 これからも皆様に「じんだい」を楽しん で読んでもらえるよう頑張りたいと思いま す。本年もどうぞよろしくお願い致します。 (K.T)